

本書内務省へ返付十二月五日

内務省北甲第二三五号

明治廿七年十月七日

主査治水課長。

土木局長。

大臣

土木技監

次官。

縣治局長。

北海道課長。

海軍省

大臣

次官○ 主事○

經理局長□

第三課長○

實録三三五九号

要

目

本件許

明治二十七年

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

主査治水課長。

部長。

長。

夏

長

本件許可は成善文に之候

明治三十七年七月二十日



海軍省令部

2094

主査治水課長。

部長。

此、治水課長 御手紙 宛に
お送りいたします。ご
査察 仰ぎます。

長
○

長

長
○

長

長

長

長

長

第一局

2095

公有水面使用出願ニ付稟申

北海道廳

本件ハ去レ明治廿五年七月中許可ヲ得テ架設シ先棧橋ノ増設ニ其棧橋ノ安全ヲ保持ス波止ノ突堤設置ノ為メ公有水面使用ニ就テ北海道炭礦鐵道株式會社ヨリ出願ニ付稟申セシモノ有レ依テ取調テ處別ニ差支無ク存案間聽許可然哉左ニ指令按相付也

按

北海道廳

明治廿七年十月廿七日第一二三七九號稟申公有水面使用出願之件聽届

但命令書中左記ノ通り修正スベシ

年月日

内務大臣

第二條中「棧橋留設」ノ下「及突堤設置」ノ字ヲ挿入スベシ
第四條中「金五拾三錢七厘」ノ下「トシ之ヲ毎年納メ」ノ字ヲ加フベシ
依リ前細スル「トス」ト訂正スベシ

第六條中「撤去セシムルコトアルヘシ」ノ下「若シ之ヲ怠リタルトキハ
官ニ於テ之ヲ執行シ其費用ハ會社ヨリ徴収ス」ニテ「テ」字
ヲ加フベシ

第七條使用期限中ト云ハ公害ヲ生シタルトキ又ハ法律命令
ノ施行ニ依リ公益上其他官ニ於テ必要ト認めタルトキハ何
時ニテモ各償ミテ使用ノ位置區域ノ変更ヲ命ジ又ハ
此命令書ノ條項ヲ増減變更シ若クハ本件水面ノ
使用ヲ停止シ又ハ禁止スルコトアルベシト訂正スベシ

第八條中使用權トアルヲ使用免許權ト訂正スベシ
第十條中使用權トアルヲ使用免許權ニ又官ニ於テ之ヲ

除却シテ其費用ハ會社ヨリ追徴スヘシトシ又第三項中
使用期限満了ノ下又ハ會社ノ都合ニ依リ該水面ヲ返却
スル場合ニ於テモ亦前項ヲ適用スト訂正スヘシ

2098

北海道廳
内務部 第一二二七九号

公有水面使用出願ニ付稟申

膽振國室蘭郡札幌通字エトツケレツプ

一海面五百三拾七坪四合五夕九才

内譯

甲 百三拾壹坪五合

乙 三百四拾八坪七合四夕九才

丙 五拾七坪貳合壹夕

此使用料是々年金五拾參錢七厘

右ハ近時石炭ノ輸出高非常ニ増加ラ来タシタル
為メ旧来ノ棧橋ノミニチハ石炭解積上差支候ニ
付棧橋増設ノ為メ使用敷度且ツ其棧橋ノ
安全ヲ保維ス為メ波止ノ役実堤設置敷度

毎

日

2099

青北海道炭礦鉄道株式會社ヨリ出願ニ付調
査スルニ事實相違ナリ町總代人會ニ於テモ何
等異議ナキハ勿論公益上支障無之モト被
認テ別紙會令案ニ依リ右便用ノ義ヲ認
可相成度任様書圖面並ニ使用料評價書
謄本相添此段稟申矣也

明治二十七年十月廿七日

北海道廳長官北垣國道印

内務大臣子爵野村靖殿

命令書

北海道炭礦鐵道株式會社

社長 西村捨三

明治 年 月 日 願 願 振 國 室 蘭 郡 札 幌 通
字 上 ト ッ ケ レ ッ プ ニ 於 テ 棧 橋 増 設 ノ 為 ノ 公 有 水 面
使 用 並 ニ 波 止 ノ 仮 突 堤 設 置 ノ 件 認 可 英 條 左
ノ 命 令 ラ 遵 守 ス ベ シ

明治 年 月 日

北海道廳長官

第一條 水面使用ノ位置及區域ハ別紙圖面
通ニシテ其面積甲百三拾壹坪五合乙三百四拾
八坪七合四勺九才丙五拾七坪五合五勺合計

要

旨

五百三拾七坪四合五夕九才トス

第二條 水面ハ棧橋架設ノ外他ノ目的ニ使用スル

コトヲ得ス

第三條 使用期限ハ認可ノ月ヨリ滿五ヶ年トス

第四條 使用料ハ五ヶ年金五拾三錢七厘トス

第五條 棧橋架設並ニ仮突堤築造方法ハ願書ニ

添ハタル仕様書ノ通ルベシ

第六條 棧橋架設並ニ突堤設置ノ爲メ水面ノ公用

ヲ害スルコトヲ得ス若シ公用上妨害アルカ又ハ

公害ヲ生スルノ虞アリト認めルトヤハ何時ニテモ會社

ノ費用ヲ以テ之カ豫防ヲ為サシメ若シハ仕様方法

ノ變更ヲ命ジ又ハ之ヲ撤去セシムルコトアルベシ

第七條 公益ノ爲メ又ハ官用其他必要アル場合ニハ

何時ニテモ毎償ニテ使用位置区域ノ変更ヲ命
シ又ハ此命令書ノ條項ヲ改正増減シ若クハ使用
ヲ停止又ハ禁止スルコトアルハシ

第八條 水面ノ使用權之ヲ擔保貸付ニ供シ又ハ他轉
移スルコトヲ得ス

第九條 持主法律命令若クハ當廳令ヲ以テ定ムル
可ハ條件ハ給テ之ヲ遵守スルハシ

第十條 會社ニ於テ此命令書ノ條項ニ違背シタル
トキハ是レヨリ生シタル損害之ヲ賠償セシムルハ
勿論ニ是レニテ水面使用ノ認可ヲ取消スルハシ

第十一條 第七條 第十條ノ處分ニ依リ使用權ヲ失
又ハ変更ヲ生シタルトキハ其区域内ニ現存セル
棧橋並ニ突堤ハ會社ノ費用ヲ以テ官ノ指定ス

要
旨

海 軍

此期限内ニ除却ニ原状ニ復スベシ若シ期限内
除却セザレトキハ官ニ於テ之ヲ除却シ其費用
ヲ追徴スヘシ

會社解散及使用期限満了時ニ於テ亦
前項ヲ適用ス

2104

評價書

騰振國室閣部札幌通字エトツケシカ

北海道炭礦鉄道會社

一水南五百三拾七坪四合五方

社長西村捨三

此使用料金五拾參錢七厘

右評價書也

評價委員

明治三十七年七月七日

室蘭外五郡書記 岡村嚴

全

全

三浦純一

右正本ニ依リ謄寫ス

北海道廳屬 高山龍之助

夏

夏

室蘭港上トツケレソガ仮橋増設仕様書

一 仮橋
三ヶ所

内

甲 延長 百六十尺
中 最廣 四拾尺
面坪 百三拾五坪五合

乙 延長 五百三拾五尺
中 最廣 三拾八尺
面坪 三百四拾八坪七合四勺九分

丙 延長 百零五尺
中 最廣 拾八尺
面坪 五拾七坪七合七勺

右仕様束口尺長 五拾五尺 蝦夷松 九方寸十五尺間

是等所 四本 乃至 八本 飛 (中五尺寸 付 是中 割) 折込

杭 既 切揃へ 平柄 寸付 枕 梁 蝦夷松 尺角 寸 架

渡 三 櫻 寸 寸 付 寸 付 木 蝦夷松 尺 四 角 寸 追 架 寸

継 手 寸 寸 付 枕 梁 へ 架 設 寸 子 寸 付 一 尺 寸 付 以 寸 寸 付

継 手 八 録 寸 以 寸 潮 面 方 寸 横 木 及 寸 筋 違 寸 十 字 形

二 貝 折 釘 寸 以 寸 寸 付 寸 杭 方 面 寸 柳 木 一 斜 樞 榎

要
目

江 軍

方寸以上ノ角ヲ子ジ付ケボトヲ以テ取付テ棧橋出先
ノ方ハハ船寄セ摺木花ニ上リ段等ヲ任付テ板板ハ
概厚サ方寸五分以上ノ板ヲ貝打釘ニ打付廣狭ニ應ニ
適宜レールヲ布設ス
右ニ通テ本陣ニ至ル也

2108

室蘭港エトツケレツカ棧橋下設亭及突堤仕様書

一突堤

港ヶ所

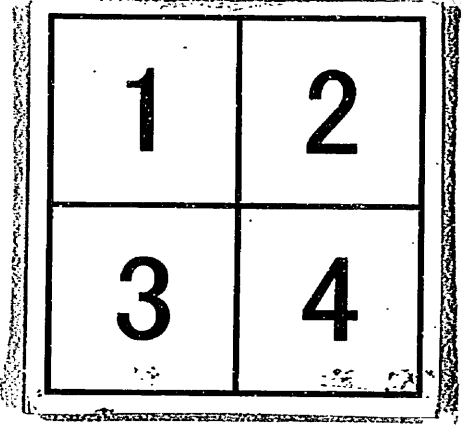
但 即北三天
高平均約廿八尺 延長三百尺

右仕様棧橋杭間(則今北廿八尺)毎二束口一守長五拾
尺瑕夷松丸太折込杭頭ヲ棧橋枕梁ニ取付テ
横貫椽樽ハ折込ヲ通りホールトニテメ付テ束口ニ守
瑕夷松丸太折込毎二港亦丸折込横ニ取付テ高
潮面上迄野面石詰込出果ス
右之通相違毎岸在也

要

目

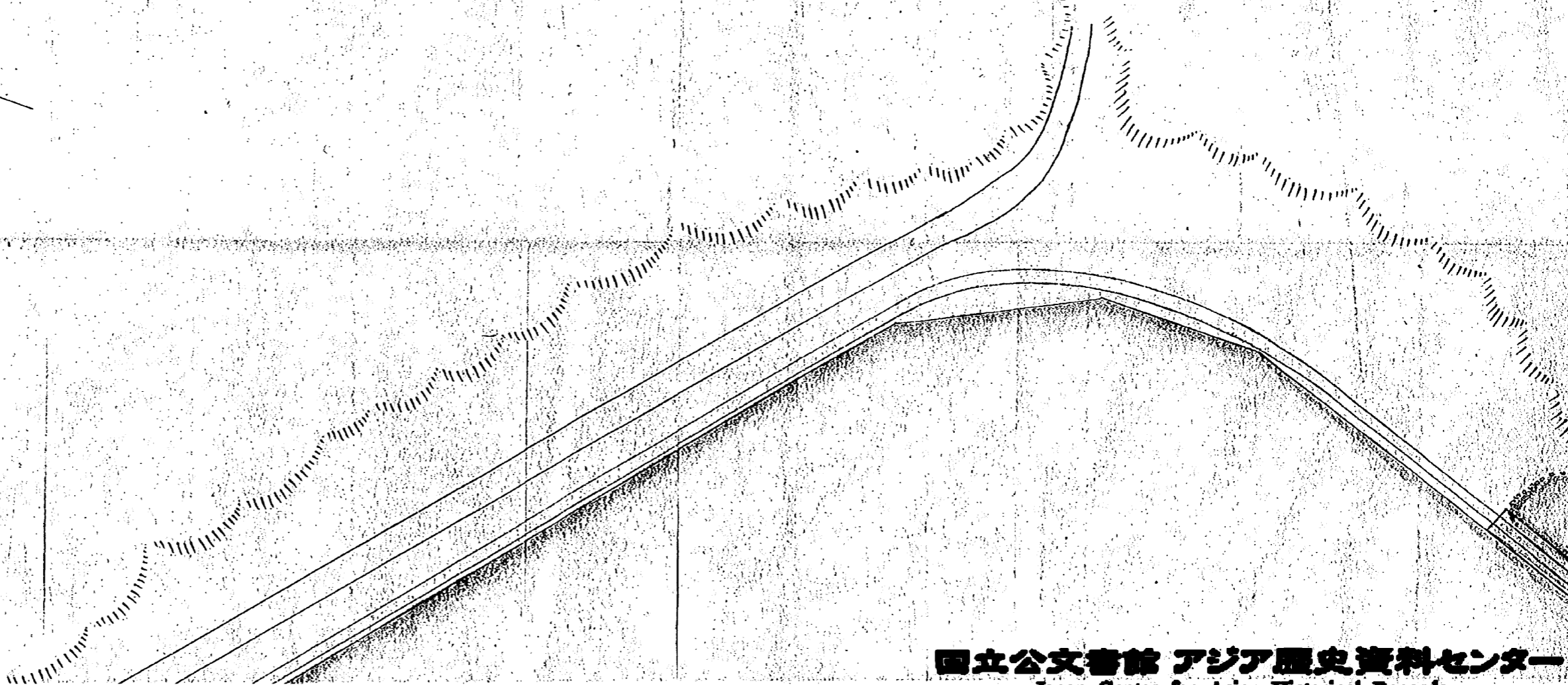
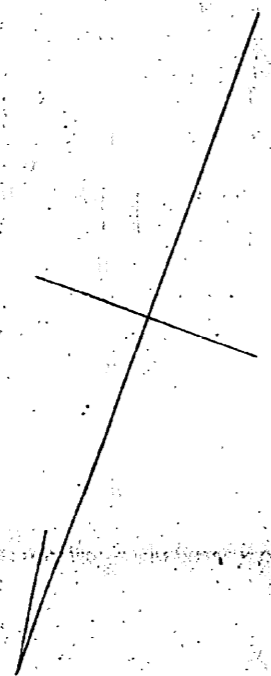
分割撮影ターゲット

<p>分割した 部分の 撮影順序</p>	 <p>A diagram showing a square divided into four quadrants by a vertical and a horizontal line. The top-left quadrant is labeled '1', the top-right is '2', the bottom-left is '3', and the bottom-right is '4'. The entire diagram is enclosed in a double-line border.</p>
<p>分割撮影 した理由</p>	<p>A 3 版 以 上 の た め</p>
<p>上記のとおり分割撮影した事を証明する。</p>	

2111
2112
2113
2114
2115

北海道炭礦鐵道株式會社
願人社長西村拾三

収束埋設置区域



室蘭郡札幌通字エツケシツノ

公有水面使用并ニ棧橋増設圖面

尺度壹千貳百分ノ壹

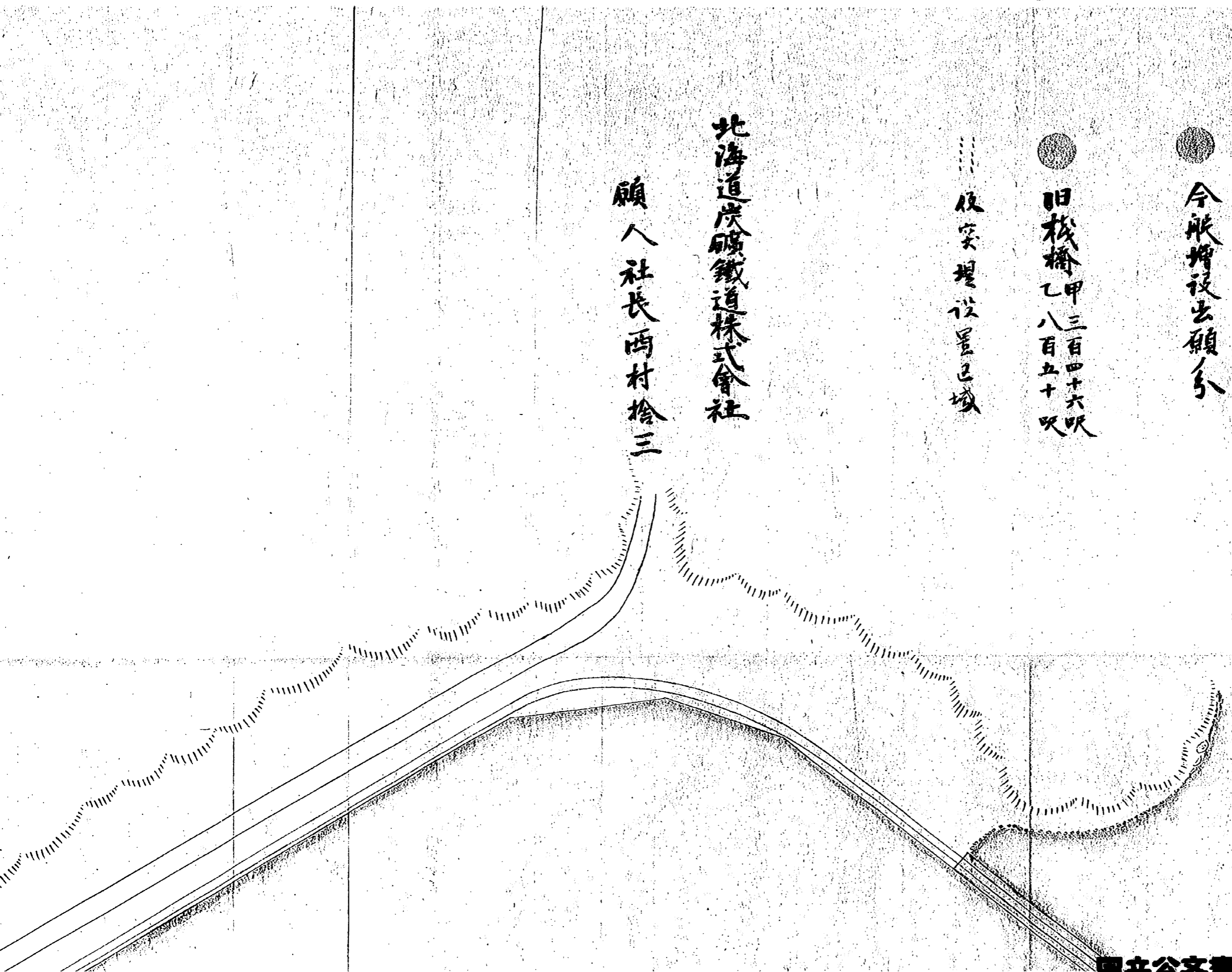
● 今般増設出願ノ系

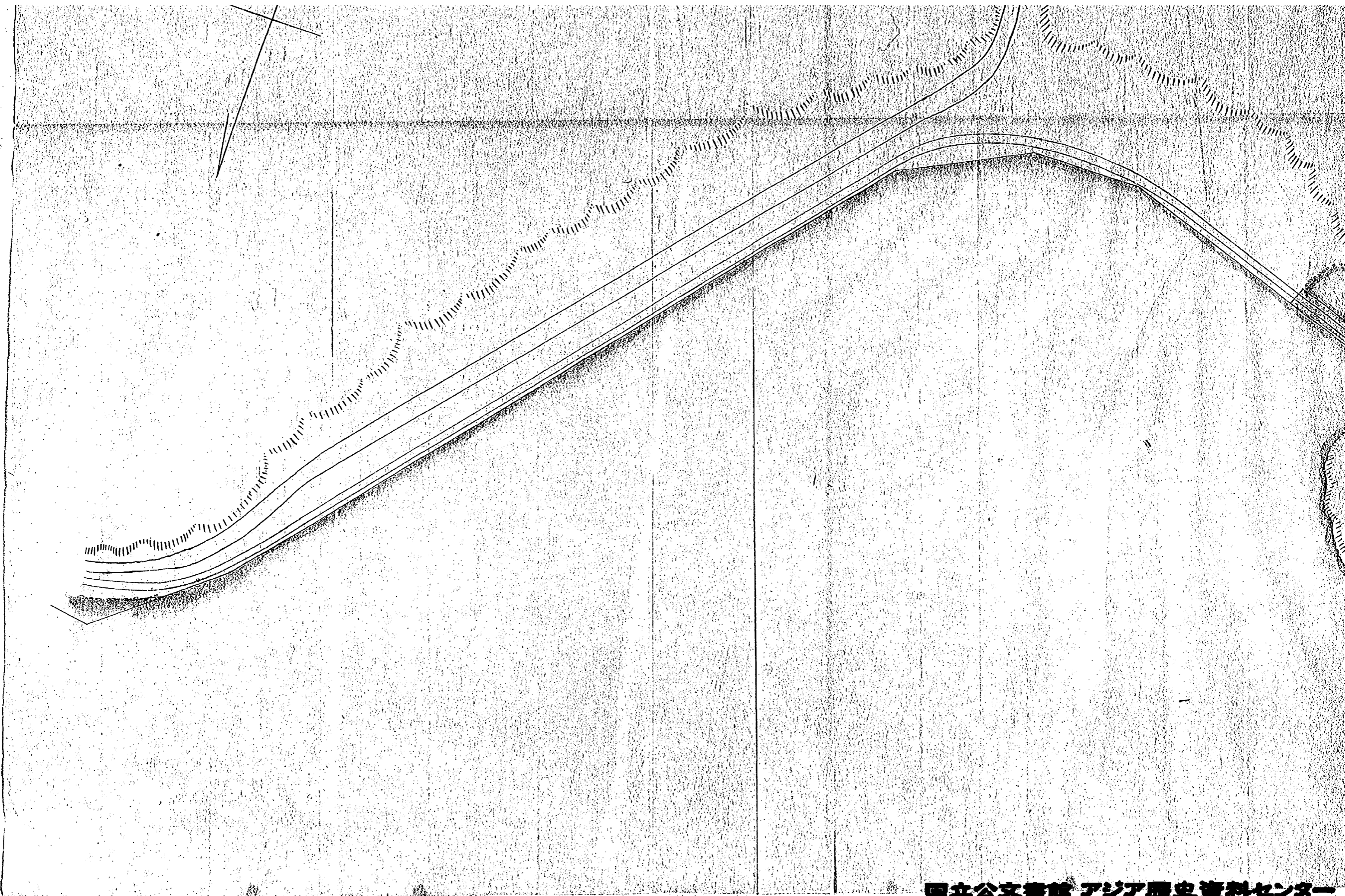
● 旧棧橋 甲 三百四十六呎
乙 八百五十九呎

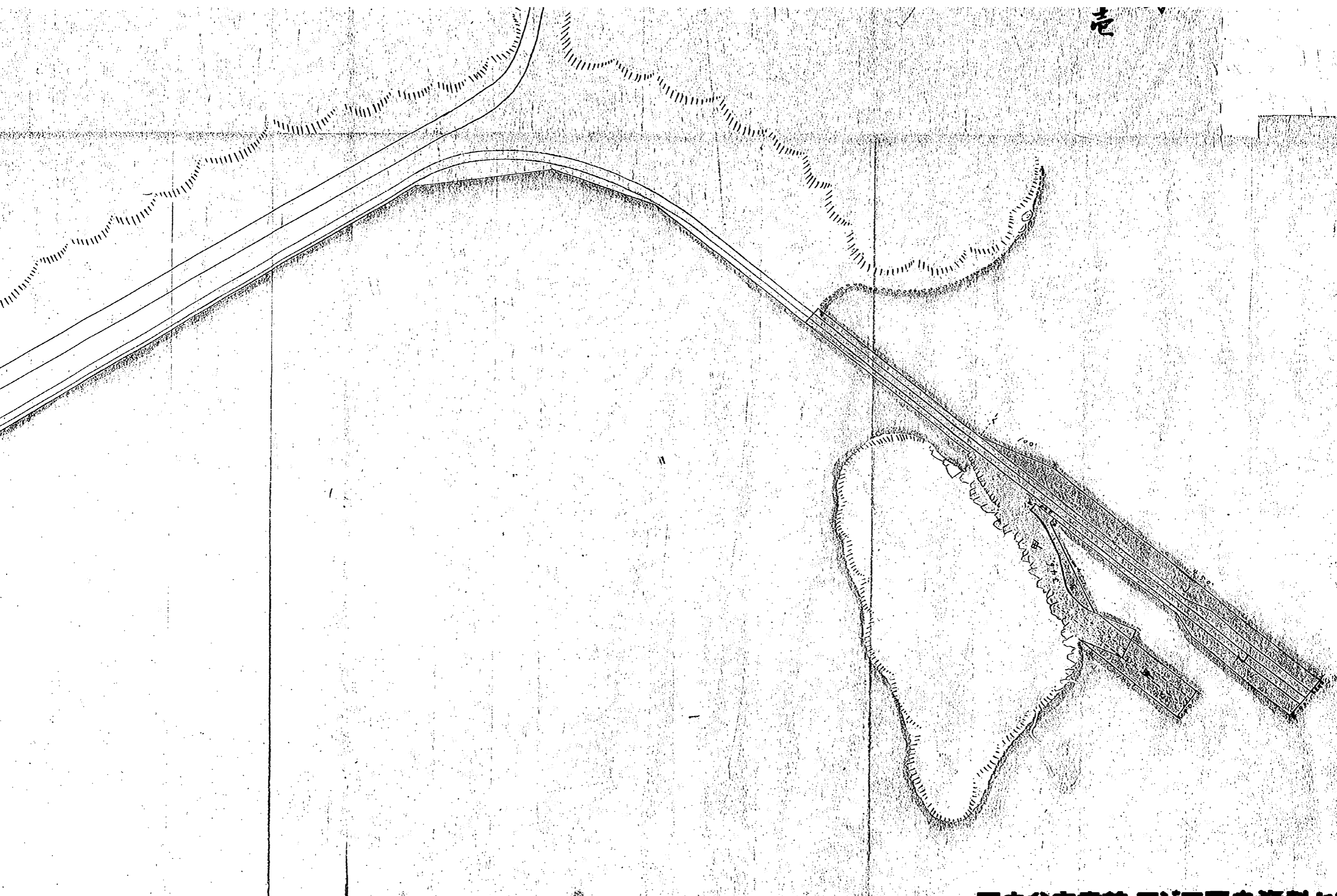
--- 及突堤設置區域

北海道炭礦鐵道株式会社

願人 社長 西村 拾三







北

